

委員提案の対応状況

資料 4

青谷地域振興未来会議において提出いただいた委員提案についての対応状況を下記のとおり報告します。

対応状況について、進捗及び今後の方向性をご確認いただき、ご意見等をいただきたい。（案件の今後の進め方やアイデアなど）

年度	案件	提案内容	対応状況
令和 7 年度	① 耕作放棄地の除草補助金の創設	資料6のとおり	
	② 農地の基盤整備と後継者の確保	- 東町水田営農組合の管理地域において、田の耕作放棄地が増加し、葎が生い茂り、鳥獣の被害が増えている。 - 営農者の高齢化、後継者不在、赤字経営のため新たな基盤整備に取り組むことができない。 - 稲作を継続していける基盤整備された農地（防災対策の一環と考える）と次世代の営農者の確保が課題であり、財源問題を解決しない限り具体案はない。	【調査・検討中】 - 農地整備に活用可能な補助制度は、一定以上の集積する面積や事業費が求められている。 - 研修や初期投資、就農直後の経営資金の支援など新規就農に対する補助制度がある。 - 農村整備事業には内容によって、農業者負担割合の低い事業がある。
	③ 外国人観光客等の交流と案内体制	- ダイキンアレスへ海外からの研修生が多数宿泊しており、研修生が町内で買い物、ジョギング、散歩などしているが、地域内の看板などの案内表記が外国語へ対応しておらず、外国人への案内が不十分と考える。 - 海外からの研修生と地域住民の交流、特に子供との交流により、子供の国際文化への理解を深める取組ができないか。	- 研修生との交流は、研修日程上、現時点では困難。 - 外国人に対する案内は、予算のかからないGoogleマップへの情報掲載など地域で取り組む最適な方法を検討。
	④ 市民の交流の場の創出（おとな食堂）	- 地域で夜間に営業する店舗が減少し、地域内の大人が交流する場が無い。 - 住民交流の新たな場を創設し、年代を越えて交流をはかり、活気が生まれる町づくりを目指したい。	- 住民交流の新たな場「おとな食堂」の創出に向け、未来会議メンバーなどから募り、活動の目的や参加方法などについて議論していく。 5/19に「おとな食堂ワーキング」を開催。実施内容を検討中。
令和 8 年度	⑤ 地域活動団体の見える化と連携強化	- 住民主体のイベントや活動が活発化しているが、活動団体の情報が把握しにくく、共有されておらず、横のつながりが少ない。 - 同じ住民が複数の団体に所属するなど、人材や活動の重複による負担も見られる。 「地域活動団体一覧」を作成し、団体間の情報共有や連携促進に活用。 - 定期的な情報交換会や交流会を開催し、各団体の課題や必要な支援などを共有する場を設け、相互協力することで、地域活性化につなげる。	【調査・検討中】 - 地域団体は広く捉え、把握可能な範囲から作成を開始し、定期的な更新、削除を行う。 - 連絡先はプライバシーを配慮し、支所や社協などの組織を窓口とし、HPへの掲載や窓口での閲覧を想定。 - 形式的、定期的な会議ではなく、自主的で活動に直結する情報が得られる場を目指す。 - まずはリスト作成による情報共有から徐々に開始。
	⑥ 各種団体の連携強化	- 意欲的に活動している団体が多数存在しているが、各団体が独自で活動し、事業によってはマンネリ化している - 各種団体の相互連携の強化や新たな魅力の追及が課題となっている。 - 合同連絡会の開催、目標の一本化、各種事業への協力連携により若年層を巻き込んだ人材育成を図る。	【調査・検討中】 - 青谷町地域活性化協議会の活用も考えるが、構想を練る段階には至っておらず白紙の段状態。 - まずは団体情報をリストアップすることが先決であるが、どこが実施主体となるのか今後の検討課題。 - 上記協議会は、意見交換の場とはなっていないため、一から体制を立ち上げる必要がある。活動団体の集約には、固有の施設利用ができないなどのメリットが必要。
	⑦ ダイキンアレスとの避難所に関する協定締結	資料5のとおり	
	⑧ 引きこもり者等への支援体制	- ひきこもり状態にある人に支援制度や相談窓口の存在が情報として十分に届かず、支援につながっていない状況が考えられる。 - 支援者が伴走しながら本人の将来をともに考え、社会参画や就労、自立に向けた支援を行うことが重要である。 - 地域の保健師と連携し、相談窓口や支援機関をまとめたパンフレットを作成し、各世帯へ回覧することで、必要な情報を提供。 - 市内で開催されているピアサポーターの取組など研修会を開催し、理解の深化、支援機関の周知を図る。	- 令和8年2月に青谷地域共生社会推進連絡会が作成した相談窓口の案内チラシを配布。定期的かつ継続的した相談窓口案内情報の配布、周知方法の検討が必要。 - 同推進連絡会で検討課題としての採用、情報発信の検討や青谷地区民生児童委員協議会の定例会における研修テーマとして採用することの継続した働きかけを行う。 - 鳥取市つながりサポーター養成研修の参加者増への取組を検討。